

佳作

鮫島 佳美

「パパへ」

久々にお手紙書くな、

最後に渡したのは結婚式の日、あの日パパも「君を幸せにします」と

「子供が大きくなってもパパのパンツも嫌がらずに

一緒に洗ってくれる温かい家庭をつくりましょう」

と笑えるお手紙くれたよね。

あれから5年、女の子を2人授かって、ペットのハムスターも

女の子と華やかな日々だね。

私は妊娠に不向きな体だったから、2人を授かった奇跡に

感謝して幸せいっぱい毎日を過ごしてきたよ。

当然パパも同じと思っていたけれど、少し違っていたんだね。

七夕の日、近所のスーパーに吊るした短冊、・・・見ちゃったんだよ。

「子供達のを書いてるから、買い物してきなよ!」と、

私を遠ざけて、一番高い所にぶらさげた短冊には、

「男の子が欲しい、一生の頼み!!」と書いてあったね。

子供達と楽しげに着せ替えやおままごとをしてくれていたけれど、

本当はキャッチボールやサッカーをしてみたくなかったんだね。

私の体を気遣って口にしなかったんだろうけど、

パパの子供は私にしか産めないのだから、

天に願うより私に話して欲しかったなあ・・・。

パパ、また2人で力を合わせて頑張ろうか!!

長く辛い日々が続くだろうけど、来年の短冊には

「男の子を授かります様に♡」と一緒に同じ願いを書きたいな。